

## 第5学年 社会科学習モデル指導案

### 1. 単元名 「国土の気候の特色」

### 2. 本時について

#### (1) 本時の目標

○四季の変化は日本の気候の大きな特色であり、人々は気候の特色を生きながら生活していることを理解する。

#### (2) 本時の展開(最後の15分の展開)

分	教師の支援	学習活動
1	●「俳句」「季語」について説明する。 児童が理解しやすいように、いくつか例を挙げる。	T:「俳句」は基本として「季語」を入れた、五・七・五の十七音からなる短い詩です。「季語」とは季節を表す言葉のことです。例えば、「桜」は春、「プール」は夏の季語です。
2	☆ワークシート「俳句から日本の四季を読み取ってみよう」を配布し、それぞれの俳句の季語と、それぞれが表す季節について考えさせる。	
7	●季語とそれらが表す季節について考えさせる。	T: 俳句の中から季語を探して、どの季節の俳句か考えましょう。 C: 蝉は夏に鳴いているね。 C: 最後の俳句はどれが季語だろう。
7	●それぞれの俳句の表す季節を確認し、季語の効果について考えさせる。	T: 季語があることで、どのようなイメージがふくらみますか。 C: 「梅」が咲く春の暖かさや、春の明るい様子が浮かびます。 C: ずっと冬で寒かったのに、やっと春になったうれしさも感じるね。
10	●俳句という文化と日本の気候の特色との関係について考えさせる。 ・四季がはっきりしない国では、季語を入れない場合もあることを知らせる。	T: 日本で生まれた俳句の文化は、日本の気候の特色とどんな関係があるでしょう。 C: 日本には四季があって、四季はみんなが知っているから、俳句に季語を入れるようになったのだと思う。 C: 四季はみんな共通のイメージをふくらませることができるね。
13	☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。	
	<p>俳句は、五・七・五の十七音で伝えたいことを書かなくてははいけません。その中に「季語」を使うと、短い言葉の中でも、たくさんのイメージを伝えることができます。これは、日本の気候の大きな特色として四季があるからこそできることです。</p> <p style="color: red;">人々は昔から、四季に合わせて生活してきただけでなく、日本の気候の特色である四季を楽しみ、生活や文化の中に活かしてきたのですね。俳句の文化は、その奥深さが外国でも評価され、広まっています。これからも大切にしていきたい日本の文化です。</p>	